

M O N T H L Y vol.139 U P

世界最高水準 日本のお札の印刷技術

あなたの財布の中にも、印刷技術の結晶が。
偽造防止、工夫が凝縮された日本の紙幣。

元号が令和になり、2024年から新紙幣が発行されるという発表がありました。

一円札は渋沢栄一、五千円札は津田梅子、千円札は北里柴三郎の肖像に変わります。

今回は、紙幣の印刷技術、お札の豆知識についてご紹介していきましょう。



日本のお札の偽造防止技術は世界最高水準を誇り、高度な印刷技術が施されています。それでもさらなる偽造対策のため、20年ごとに紙幣を変更しているのです。それでは新紙幣発行前に、まず現行2004年発行開始の一円札を例にお札に盛り込まれた高度な印刷技術を見てみましょう。

① 触ってみる

お札は凹版印刷で刷られていますが、表面「日本銀行券 壱万円」の文字と右下のカギ型の識別マーク（紙幣の金額によって識別マークの形が違います。比較してみてください）の部分は深凹版印刷という方法で刷られており、インキが高く盛り上がっています。これにより、目の不自由な方でも、触るとざらつきによって区別がつくようになっているのです。



② すかしてみる

現行紙幣では紙の厚さを部分的に薄くする「白すかし」と部分的に厚くする「黒すかし」を組み合わせて、すかし部分の絵柄を表現しています。すかしは、中央の楕円内にある肖像だけではありません。印刷部分の福沢諭吉の肖像の右側にも三本線のすかしが入っています（五千円は二本線、千円は一本線）。



光にすかすと…

③ 傾けてみる

左下に入っているホログラムは角度を変えることで10000の数字、桜の意匠、デザインされた日本銀行の「日」の字が切り替わって見えます。お札の両端の部分は傾けるとパールインキによるピンク色の光沢が確認できます。



④ その他にも

カラーコピー機では再現できないマイクロ文字で「NIPPONGINKO」と印刷されており、また日本銀行総裁の印行など一部分は紫外線を当てると発光するようになっています。



日頃当たり前のように使っているお札に、いろいろな工夫が凝らされていて、驚かされますね。今回、本編の執筆にあたり、独立行政法人国立印刷局のWebサイトを参考にしました。



参照:独立行政法人国立印刷局 <https://www.npb.go.jp/>



セザックス株式会社

<http://www.sezax.co.jp>

<input type="checkbox"/> 本社・工場	〒146-0091 大田区鵜の木2-9-7	TEL 03(3758)2511(代)
<input type="checkbox"/> 渋谷コア	〒150-0002 渋谷区渋谷3-19-1 渋谷オミビル6F	TEL 03(3400)9211(代)
<input type="checkbox"/> 関西コア	〒530-0047 大阪市北区西天満5-8-8 VEGA VI高橋ビル別館803	TEL 03(3400)9401(代) TEL 06(6131)0410(代)
<input type="checkbox"/> 下丸子工場	〒146-0092 大田区下丸子2-20-4	TEL 03(3758)2516(代)

株式会社セザックスクリエイティヴ	〒150-0002 渋谷区渋谷3-19-1 渋谷オミビル2F	TEL 03(3409)4970(代)
株式会社セザックスドキュメントソリューションズ	〒146-0091 大田区鵜の木2-9-7	TEL 03(3758)2533(代)



No.I290-ISO/IEC 27001
No.E2204-ISO14001 (本社・下丸子工場)
No.4412-ISO9001 (本社・下丸子工場)



この小冊子は森林認証紙を使用しています。